

津波避難ビル 一覧

施設名	住 所
ホテルおかべ 汐彩亭	中央1丁目5番16号
氷雪荘	中央1丁目6番13号
稚内サンホテル	中央3丁目7番16号
ANAクラウンプラザホテル稚内 (旧稚内全日空ホテル)	開運1丁目2番2号
中央団地 62-B-1	開運2丁目1番6号
ホテル滝川	港2丁目3番24号
ニューチコウホテル	大黒1丁目4番26号
稚内ランドホテル	大黒2丁目13番11号
ホテル奥田屋	大黒3丁目7番13号
ホテルめぐま	声問2丁目13番14号
禅徳寺	宝来2丁目8番13号
宝来団地 15-1	宝来5丁目3番38号
宝来団地 22-1	宝来5丁目3番39号
風の宿 宗谷パレス	富士見4丁目1484番14
富士見団地 13-1	富士見5丁目1835番1

津波一時避難場所 一覧

名 称	場 所
富士見1丁目バス停裏山	富士見1丁目
総合体育館裏山	富士見4丁目
富士見団地裏山	富士見5丁目
ウロンナイ神社裏山	西浜1丁目
稚内西小中学校裏山	西浜2丁目
泉宅裏山	西浜2丁目
マタルナイ地区裏山	西浜3丁目
夕日が丘パーキング付近	西浜4丁目
抜海配水池	抜海
抜海神社裏山	抜海
宗谷岬公園	宗谷岬
航空自衛隊稚内分屯基地高台	ノシャップ

防災ガイドマップを活用しましょう

防災ガイドマップには「避難場所・一時避難場所」「津波浸水予測図」「土砂災害危険箇所」などが掲載されています。

災害時の避難場所や避難経路の確認をお願いします。



稚内市長 工藤 広

「忘れた頃にやってくる」とも言われています。もちろん、市民の安全を守るため、行政が全力で取り組むのは当然ですが、皆さんも、自分と自分の身の周りの安全について、もう一度立ち止まって考えてください。

今も、まちのあちこちに災害対応の自動販売機を設置していただいたり、また、万が一の津波発生に備えた、津波避難ビルの協定に協力いただくなど、民間の方々からの支えは、大変心強い限りです。本当に「災害はいつ起こるか分からない」ですし、「忘れた頃にやってくる」とも言われています。もちろん、市民の安全を守るため、行政が全力で取り組むのは当然ですが、皆さんも、自分と自分の身の周りの安全について、もう一度立ち止まって考えてください。

北海道の日本海北西沖沿岸側などで地震が発生した場合、海に面している本市は、地震発生に伴う津波被害が予想されます。

市では、津波被害対策として、標高の高い場所や市内12か所の津波一時避難場所への避難を第一に考えていますが、「高い場所に行きたいけども移動する時間がない」、「近くに高台がない」という場合は、津波避難ビルに避難してください。

津波浸水予測区域内にいる市民の方が、地震等によって発生する津波や浸水から身を守るため、地震発生から浸水が解消するまでの間、一時的に避難することができるとのことです。

市と協定を結び、津波避難ビルに指定されている建物は、左の表のとおりです。

問い合わせ／
市防災安全課防災交通グループ
☎ 2316380

津波発生時は 迅速に高い場所へ!!

津波避難ビルとは



このステッカーが貼ってある建物が、津波避難ビルの目印です。

災害発生時には、飲料を無償提供!!

市が北海道コカ・コーラボトリング株式会社と締結した協定により、災害発生時において、災害対応型自動販売機内の飲料を無償提供します。

災害対応型自動販売機が設置されている場所は次のとおりです。



- ・キタカラ
- ・市役所
- ・総合文化センター
- ・保健福祉センター
- ・ANAクラウンプラザホテル稚内
- ・稚内フェリーターミナル
- ・稚内消防署
- ・市立図書館
- ・東地区活動拠点センター
- ・稚内北星学園大学
- ・総合体育館
- ・稚内温泉「童夢」
- ・ホテルおかべ 汐彩亭
- ・稚内サンホテル
- ・ホテル滝川
- ・ホテルニューチコウ
- ・ホテル奥田屋
- ・ホテルめぐま
- ・稚内空港事務所
- ・稚内空港ビル2階出発待合ロビー

こんにちは 市長です。No.19

「災害に対する備えはみんなで」

6月29日は、平成14年に、「中央大火」が発生した日であり、大きな災害の経験がない我がまちの市民にとっては、決して忘れることができない、代表的な大規模な被災体験です。

今でも、あの夕方の出来事が脳裏によみがえってきます。まさに「紅蓮の炎」であり、この世のものとは思えませんでした。

外出先からまっすぐ市役所に駆けつけ、緊張の連続で災害対策本部に詰め、解放されたのは、次の日の朝だったと記憶しています。

このところ、首都圏を中心に震度5前後の地震が続いており、心配しています。先日、稚内でも震度1の地震がありました。地震慣れしている人々から見れば「震度1なんて」と思うかもしれませんが、笑ってばかりもいられません。

今も、まちのあちこちに災害対応の自動販売機を設置していただいたり、また、万が一の津波発生に備えた、津波避難ビルの協定に協力いただくなど、民間の方々からの支えは、大変心強い限りです。本当に「災害はいつ起こるか分からない」ですし、「忘れた頃にやってくる」とも言われています。もちろん、市民の安全を守るため、行政が全力で取り組むのは当然ですが、皆さんも、自分と自分の身の周りの安全について、もう一度立ち止まって考えてください。

